

平成19年度

高校生の学力と学習状況

【学習支援テスト結果分析】

実施日：平成19年11月13日
対象：公立高校全日制及び多部制昼間部1年生
実施：高知県進学協議会
集計及び分析：高等学校課

高知県教育委員会

1 学習支援テストの概要

- (1) 実施日 平成19年11月13日(統一実施日)
- (2) 対象生徒 高知県公立高等学校41校
全日制、多部制昼間部1年生
- (3) 試験の内容 学力テスト 国語・数学・英語
学習状況アンケート

2 学力の状況

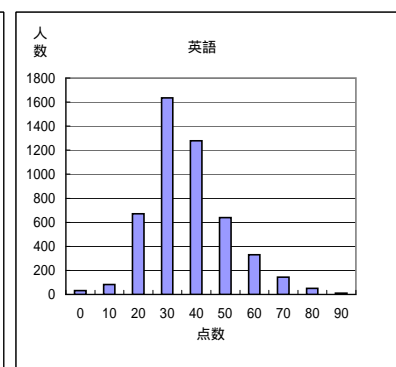
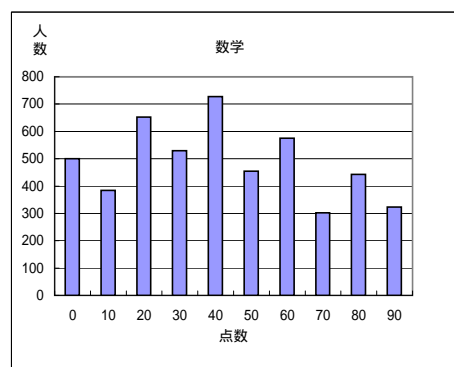
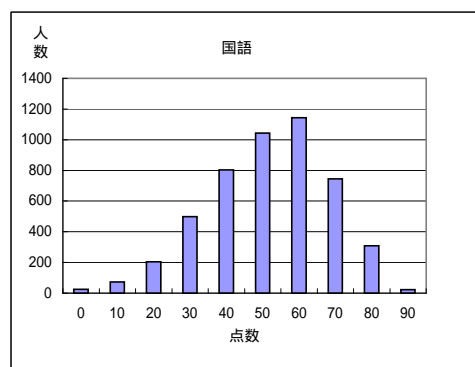
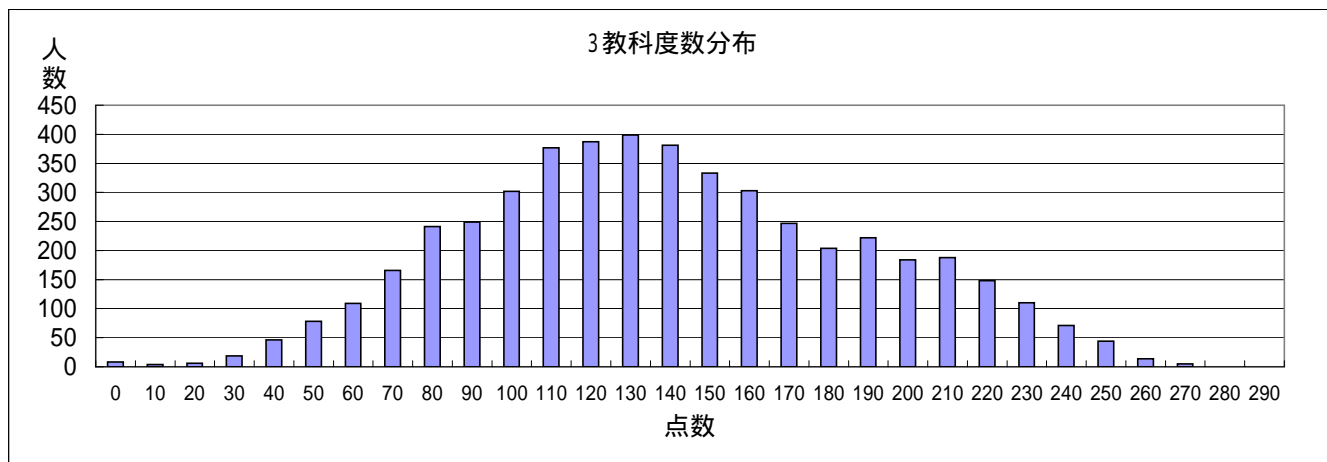
(1) 各教科の指標

	国語	数学	英語	3教科計
受験者数	4867	4889	4872	4845
平均点	56.2	45.9	41.7	144.2
標準偏差	16.5	27.0	13.6	49.4

(2) 領域別の学習状況

教科	領域	問題番号及び観点	配点	平均点	正答率(%)
国語	言語事項 読解	1 言語事項	20	12.0	60.2
		2 現代文(論説文)	30	14.9	49.7
		3 現代文(小説)	30	19.2	63.9
		4 古文	20	10.0	50.1
数学	数と式	1 数と式(中学校)	20	13.4	67.0
		4 数と式(高等学校)	40	18.7	46.8
	図形	2 図形	20	6.1	30.5
英語	理解	3 数量関係	20	7.7	38.7
		1~4 リスニング	20	11.9	59.6
	聞く	8~10 リーディング	40	14.0	35.1
	読む	5 文法・語法の知識・理解	20	6.9	34.5
言語知識 表現	6・7 英語表現の基礎力	20	8.8	44.2	

(3) 度数分布



3 教科別分析

平成19年度(2007)

統一実施日 H19.11.13

学習支援テスト 学習状況分析 国語

平均点(56.2) 標準偏差(16.5)

問題		正答率		領域	
番号	問題項目	正答	配点		
問題 1	1		1	87.8	言語事項
	2	漢字	1	79.0	
	3		1	70.1	
	4		1	78.0	
	5		2	92.7	
	6	語句に関する知識	2	64.8	
	7		2	97.7	
	8		1	78.5	
	9	古文 文法	1	53.9	
	10		2	14.5	
	11	漢文 再読文字	2	36.1	
	12		2	46.6	
	13	漢文 基本的な助字	2	26.1	
問題 2	14	文章の構成の把握 (接続語の空欄補充や係り受けなどの基本的事項)	4	6.0	現代文 (論説)
	15		4	91.7	
	16		4	73.4	
	17	書き手の意図や主張の把握 (傍線部の説明や、全体の主旨)	6	43.2	
	18		6	49.8	
19	6	41.6			
問題 3	20	小説内の語句の意味	3	61.9	現代文 (小説)
	21		3	79.1	
	22	場面または心情の把握	4	53.2	
	23		4	55.5	
	24		5	61.9	
	25		5	80.7	
26	6	57.7			
問題 4	27	表現内容の把握 (動作主や話題の展開)	4	50.3	古文
	28	口語訳	5	32.2	
	29		5	52.2	
	30	課題文全体の表現内容や主題の把握	6	63.1	

【全体】

基礎的な言語事項については、一定の定着がみられるが、現代文については論理的な思考に、古典については文法事項の正確な理解に課題がある。

言語事項

- ・漢字、語句に関する基礎的な言語事項についてはおおむね定着している。
- ・古文については、文法事項のうち、語の識別に関する理解が十分ではない。
- ・漢文については、再読文字、助字に関する理解が十分ではない。

現代文
(論説)

- ・文の構成に関する正確な理解が十分ではない。
- ・文脈から論理を把握し、判断する力が十分ではない。
- ・文章全体の論旨を把握する力が十分ではない。

現代文
(小説)

- ・文章中の語句の意味については、おおむね満足できる結果である。
- ・日常的な感覚で理解ができる設問に関しては正答率が高い。
- ・文脈から登場人物の心情を把握する力が十分ではない。

古文

- ・現代語から類推しやすい語に関する設問は正答率がいくぶんよくなっている。
- ・現代語と古語との意味の違いについて理解が十分ではない。
- ・古文の内容を正確に読み取る力がまだ十分ではない。

【正答率が高い問題】

- 問題7 接続詞の空欄補充(97.7%)
- 問題5 (猫)の手も借りたい(92.7%)
- 問題15 空欄補充(91.7%)
- 問題1 漢字「決意」の「意」(87.8%)
- 問題25 登場人物の心情の説明(80.7%)

【正答率が低い問題】

- 問題14 語のかかりうけ(6.0%)
- 問題10 助動詞の文法的意味の識別(14.5%)
- 問題13 漢文の助字「乎」の用法(26.1%)
- 問題28 古文の反語表現を含む口語訳(32.2%)
- 問題11 漢文の再読文字「当」の書き下し文(36.1%)

**【今後の対応策】**

授業において、文章の内容を正確に読み取る指導の充実が必要である。
現代文の指導については、筆者の論理や人物の心情を、筋道立てて読み取る学習活動を充実させる工夫が必要である。
古典の指導については、古典と現代の言葉の違いについて認識を深め、古典の文章を正確に読み味わう学習活動を充実させる工夫が必要である。

平成19年度(2007)

統一実施日 H19.11.13

学習支援テスト 学習状況分析 数学

平均点(45.9) 標準偏差(27.0)

問 題		問 題		正答率		領域	
				小問別	領域別		
番号	問題項目	正答	配点	小問別	領域別		
問題1	アイウエオカ	正負の数の四則演算		4	70.1	67.0	数と式 (中学校)
	ク	分数の加法・減法		4	70.2		
	ケ	多項式の計算		4	72.3		
	コ	平方根を含む式の計算		4	52.4		
	ク	平方根を含む式の計算		4	52.4		
	ス	連立方程式	-	4	69.9		
問題2	アイウエオカ	相似な図形		4	15.3	30.5	図形 (中学校)
	ク	立体の体積		4	43.9		
	ケ	円周角・中心角		4	43.6		
	コ	平面図形の面積		4	24.6		
	ク	三平方の定理		4	25.0		
問題3	アイウエオカ	一次関数のグラフ	-	4	29.7	38.7	数量関係 (中学校)
	ク	放物線のグラフ		4	56.6		
	ケ	放物線の値域	0	4	11.0		
	コ	確率		4	55.0		
	ク	関数と図形の融合問題		4	41.4		
問題4	アイウエオカ	整式の減法		4	70.6	46.8	数と式 (高等学校)
	ク	単項式の乗法	-	4	52.7		
	ケ	式の展開		4	78.3		
	コ	式の展開		4	62.6		
	ク	因数分解		4	56.1		
	ケ	因数分解		4	56.1		
	コ	因数分解		4	56.1		
問題5	アイウエオカ	式の値・分母の有理化		4	24.0	46.8	数と式 (高等学校)
	ク	二次方程式 (解の公式)		4	41.1		
	ケ	二次方程式 (重解の条件)	-	4	22.9		
	コ	連立不等式	-	4	27.2		
	ク	連立不等式	-	4	27.2		
	コ	二次方程式の利用(文章題)		4	32.1		

【全体】

今回の出題内容は、高校数学の基礎となる、重要な計算、公式・性質等であるにもかかわらず、十分定着しているとはいえない。基本的な力が不足していると思われる。

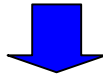
数 と 式	<p>< 中学校の内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域別正答率は、67%と低くはないが、設定通過率にはとどいていない。 ・正負の数の四則演算は、中3生対象の平成19年度全国学力・学習状況調査で同等の問題が出題され、正答率が全国平均77.8%であるのに対し、70.1%と、高校1年段階でも全国に追いついていない現状である。 ・平方根を含む計算は、乗法が混じると20%ほど正答率が下がっている。 <p>< 高等学校の内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題4は、(1)～(5)は、すべて基本的な計算である。60%前後の正答率であるが、設定通過率にはとどいていない。 ・問題5(3)は、「重解」(4)は、2式の共通解といった基本概念が十分理解されていない。(5)は、二次方程式の文章題である。今回は図を入れたため昨年より10%ほど正答率が上昇したが、文章題は正答率が低い傾向にある。
-------------	---

図 形 (中 学 校)	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の領域は、昨年度も29.0%と3領域の中でも正答率が低い結果がでている。基本的な定理、公式、性質を問題を解く中で一つ一つ定着を図りたい。
-------------------------	---

数 量 関 係 (中 学 校)	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)、(2)及び(3)は、関数の基本的な性質を利用して解く問題であるが、正答率は高くない。 ・(3)の変域の問題では、昨年度も同様な問題で正答率7.7%と低い正答率であった。二次関数の基本的な特徴が十分理解されていない。式とグラフとの関連付けについて理解を図りたい。
-----------------------------------	--

【正答率が高い問題】	
式の展開	78.3%
多項式の計算	72.3%
整式の減法	70.6%
分数の加法・減法	70.2%
正負の数の四則演算	70.1%

【正答率が低い問題】	
放物線の値域	11.0%
相似な図形	15.3%
二次方程式 (重解条件)	22.9%
式の値・分母の有理化	24.0%
平面図形の面積	24.6%

**【今後の対応策】**

計算力や公式を身に付けるには、ある程度の量は必要である。毎日少しずつでも生徒に課題を与え、家庭での学習習慣をつけることが大切である。その際、課題に要する時間・内容・授業との関連など課題のタイミングや内容に工夫が必要である。

問題に書かれている条件から図やグラフや式にするなど、一つ一つのプロセスを大切にしたい指導が必要である。生徒が自分で書いた黒板の解答について、論理的な説明ができる場面が必要である。

		問題		正答率		領域
番号	問題項目	正答	配点	小問別	領域別	
問題1	1	音素の聞き取り(数字)		1	66.5	理解 (聞くこと)
	2	音素の聞き取り(否定)		1	94.0	
	3	音素の聞き取り(数字)		1	98.1	
問題2	4	短文の聞き取り(動作)		1	96.8	
	5	単文の聞き取り(状態)		2	31.8	
	6	単文の聞き取り(比較表現)		2	38.2	
問題3	7	対話・英文の聞き取り(疑問詞)		2	46.1	
	8	対話・英文の聞き取り(許可表現)		2	33.1	
	9	対話・英文の聞き取り(疑問詞)		2	70.9	
問題4	10	英文を聞き取り、要点を押さえる(時)		2	57.7	
	11	対話文を聞き取り、要点を押さえる(理由)		2	77.8	
	12	対話文を聞き取り、要点を押さえる(手段)		2	62.6	
問題5	13	文法・語法(代名詞)		2	20.5	言語知識
	14	文法・語法(受動態)		2	51.1	
	15	文法・語法(助動詞)		2	26.8	
	16	文法・語法(疑問詞)		2	67.0	
	17	文法・語法(比較級)		2	41.5	
	18	文法・語法(too~ to構文)		2	39.8	
	19	文法・語法(keep~ ing構文)		2	36.8	
	20	文法・語法(Would you mind~ ing?構文)		2	9.6	
	21	文法・語法(時・条件を表す副詞節)		2	20.1	
	22	文法・語法(名詞の定義)		2	32.1	
問題6	23	コミュニケーションに関する英語の表現問題		2	78.9	表現
	24	"		2	56.5	
	25	"		2	81.5	
	26	"		2	69.5	
	27	"		2	39.1	
問題7	28	語整序に関する問題		3	43.4	理解 (読むこと)
	29	S+V+O+O(疑問詞+to-不定詞)				
	30	語整序に関する問題		3	13.2	
	31	形式主語It				
	32	語整序に関する問題		4	15.7	
	33	形式目的語のit				
問題8	34	単文の内容理解に関する問題		2	15.7	
	35	"		2	38.0	
	36	"		2	29.6	
	37	"		2	44.1	
	38	"		2	*100	
	39	"		2	23.8	
	40	"		2	60.8	
	41	"		2	23.7	
	42	"		2	8.0	
	43	"		2	*100	
	問題9	44	パラグラフの概要把握に関する問題		3	27.9
45		"		3	22.6	
46		"		3	28.4	
47		"		3	22.9	
48		"		3	26.9	
問題10	49	比較的長い文の要点把握		2	23.4	
	50	"		3	27.7	

(注) *100は全員正答とする。

【全体】

領域別の結果としては、聞くこと(リスニング)の正答率が高いが、書くことや読むことの正答率が低く、高校入試の結果とほぼ同じ傾向となっている。基本文法や基本構文、英文(今回は100~300語程度)の速読力の定着が不十分である。

理解 (聞くこと)	<p>聞くことにおいては、概ね中学校レベルの力は身につけていると思われる。 音素の聞き分けの問題は概ね良好である。しかし、短文の聞き取り(複数の数字の聞き取り、比較表現)が苦手のようなのである。 (7),(8)については、対話を聞いて質問に答える問題であるが、単語の聞き取りはできているものの、全体の内容を聞き取れていないようである。まとまりのある英文や対話の聞き取り練習を多くする必要があると考えられる。 概ね良好。より一層正確性を高め、様々な英文の聞き取りに慣れさせたい。</p>
--------------	---

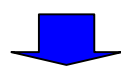
言語知識	<p>この領域が最も正答率が低い。 代名詞に関する問題(13)、助動詞に関する問題(15)、会話の慣用表現(20)、時を表す副詞節(21)の定着が不十分である。中学校の内容を含め、言語知識について総復習をして定着を図りたい。 基本的事項の理解が不十分である。中学校の内容を中心とした総復習が不可欠。</p>
------	--

表現	<p>英語の基本的な表現力はまずまずである。(24),(27)は会話でよく使われる表現であるので、定着させたい。 (28)~(33)の正答率が低く、基本的な語順が身につけていない。 表現力の基礎が不十分。語順を中心に、スペリング、基本的な構文を、確実に身につけさせたい。</p>
----	--

理解 (読むこと)	<p>読解については、正答率が非常に低い。 単文の内容理解を問う問題で正答率が低い。 ある程度まとまった英文を読む力が不十分である。 ある程度まとまった量の英文を、たくさん読ませる機会を設けたい。</p>
--------------	---

【正答率が高い問題】	
音素の聞き取り(数字)	98.1%
短文の聞き取り(動作)	96.8%
短文の聞き取り(否定)	94.0%
表現問題(25)	81.5%
表現問題(23)	78.9%

【正答率が低い問題】	
読解(内容理解)	8.0%
Would you mind ~ ing?	9.6%
語順(形式主語を含む構文)	13.7%
語順(形式目的語を含む構文)	15.7%
読解(70~80語)	15.7%

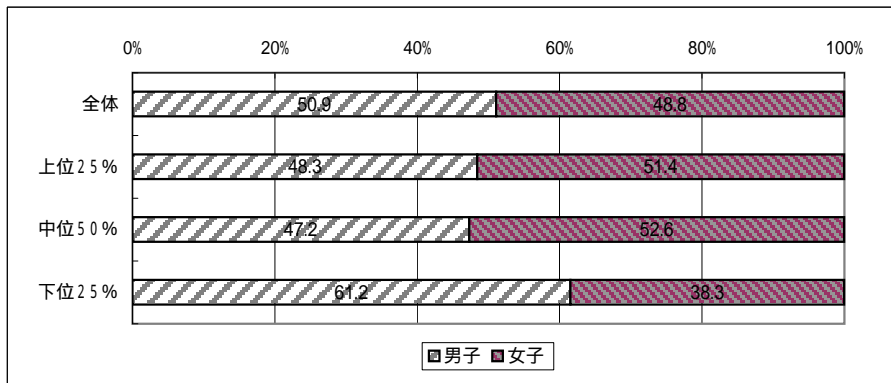
**【今後の対応策】**

高校入学後に中学校の基本的事項の定着を図る。
基本的な英文の徹底的を図るために、音読筆写などに取り組みさせる。
英字新聞やインターネットの活用など多くの英文に触れる機会を増やす。
まとまった英文を一定時間で読み、要点をつかむ訓練(スキミングやスキミング)を意識した授業展開の工夫をする。
書くことが不十分なので、英文の構成や表現方法を学ばせ、まとまった英文を書く訓練を行う。
年間シラバスや短期シラバスを作成し、生徒の実態にあった到達目標を明確にする。

4 学習状況アンケート結果

(1) 男女別

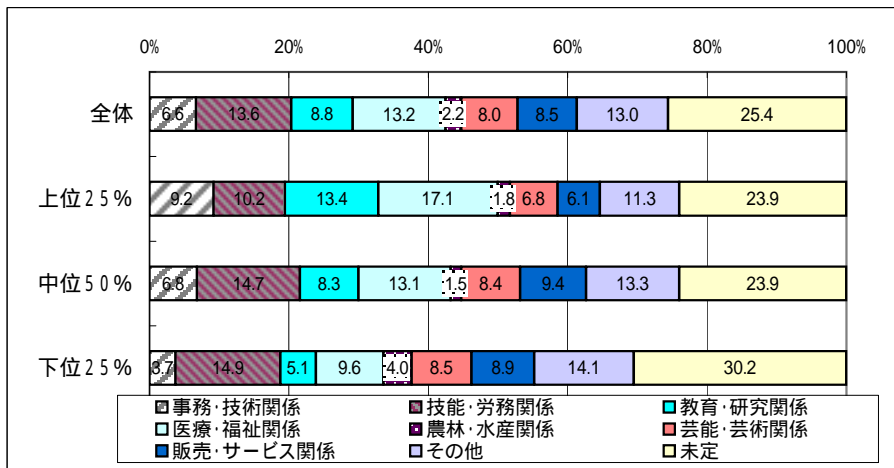
1 あなたは、いずれに該当しますか。



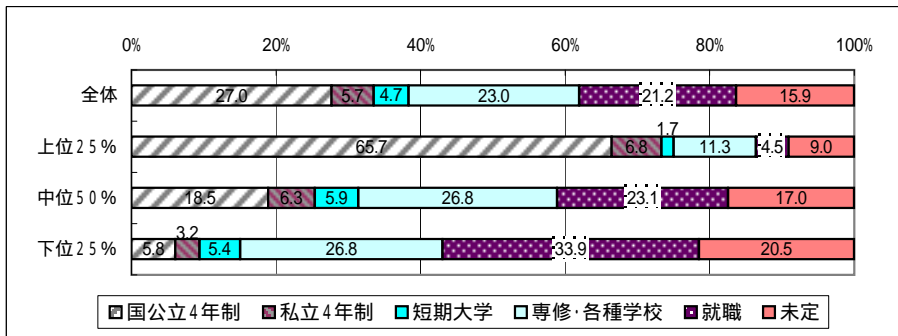
下位層で男子生徒の割合が大きく増加する。

(2) 進路希望

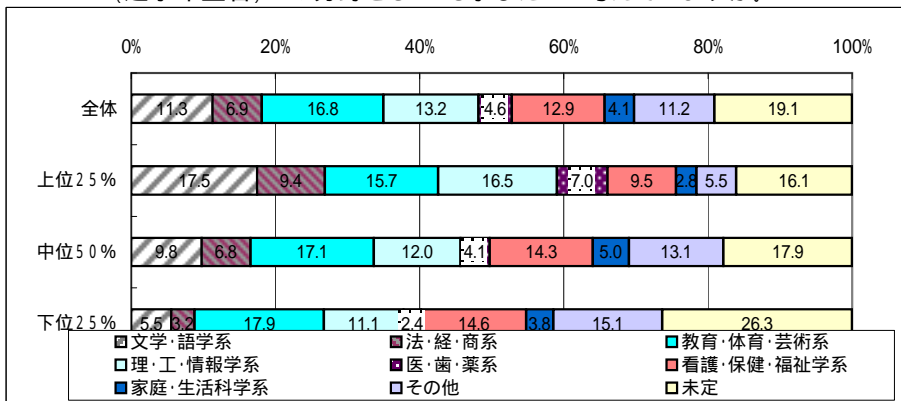
2 あなたは将来どのような職業に最も就きたいと思っていますか。



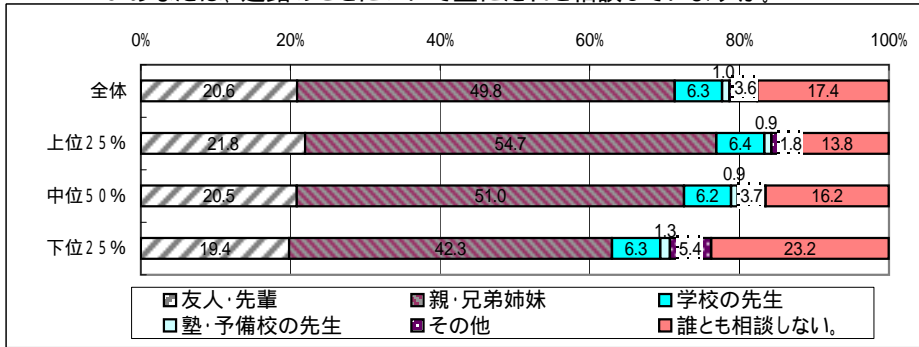
3 あなたが、現在希望している高等学校卒業後の進路はどれですか。



4 (進学希望者) どの分野をもっとも学びたいと考えていますか。



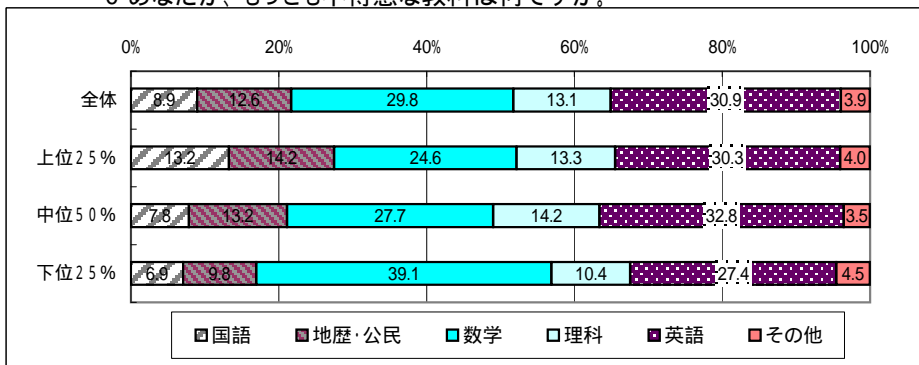
5 あなたは、進路のことについて主にだれと相談していますか。



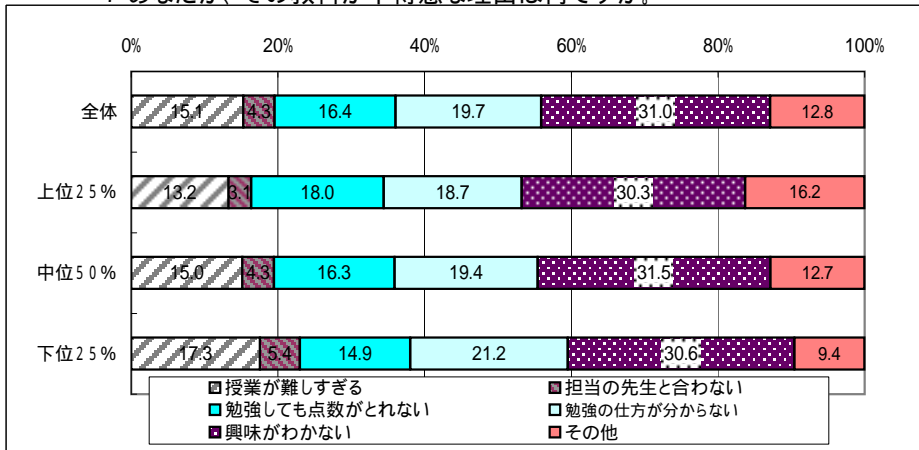
卒業後の進路が未定の割合は、下位層ほど多くなる。
進路のことについて誰とも相談しない割合が下位層ほど多くなる。

(3) 学習・授業

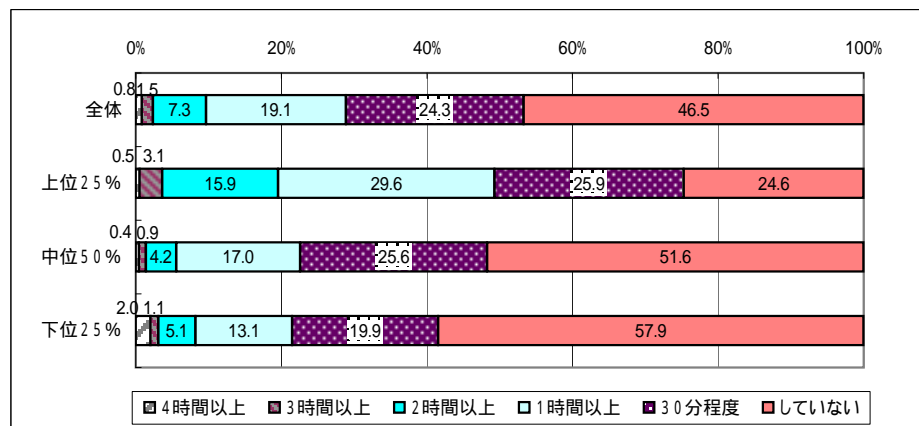
6 あなたが、もっとも不得意な教科は何ですか。



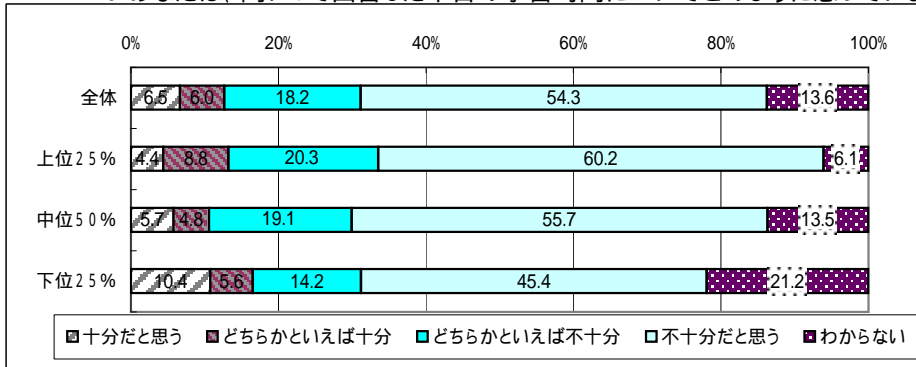
7 あなたが、その教科が不得意な理由は何ですか。



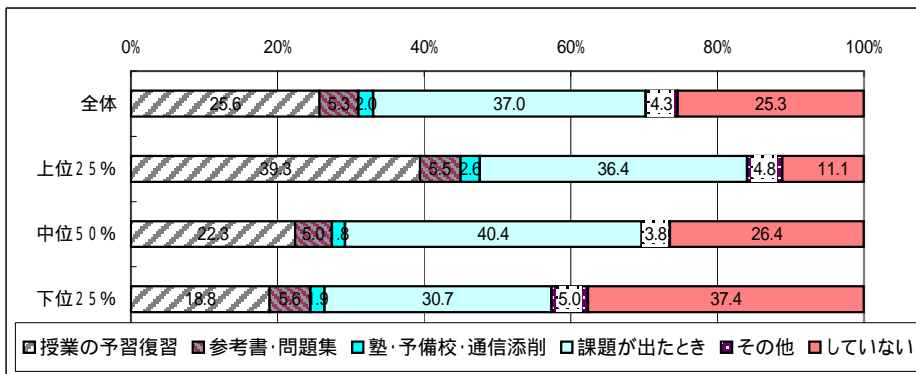
8 平日、あなたの授業以外の平均学習時間はどのくらいですか。(塾含む)



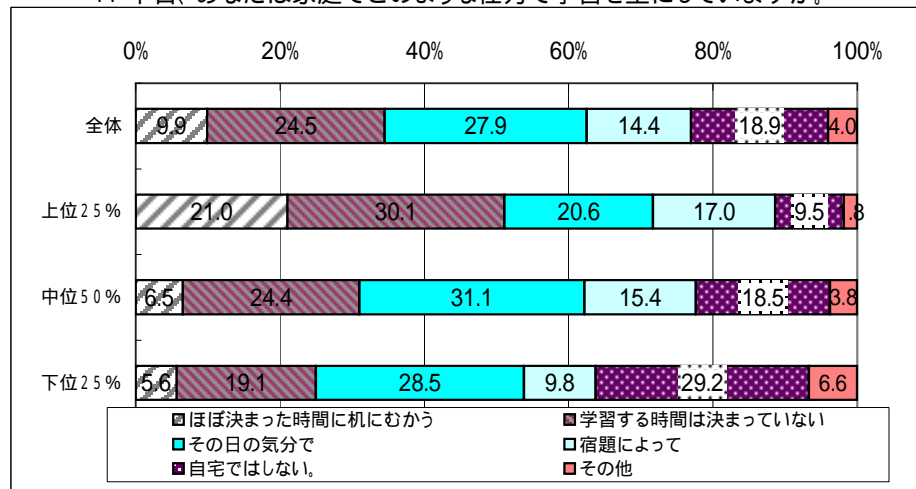
9 あなたは、問い8で回答した平日の学習時間についてどのように思っていますか



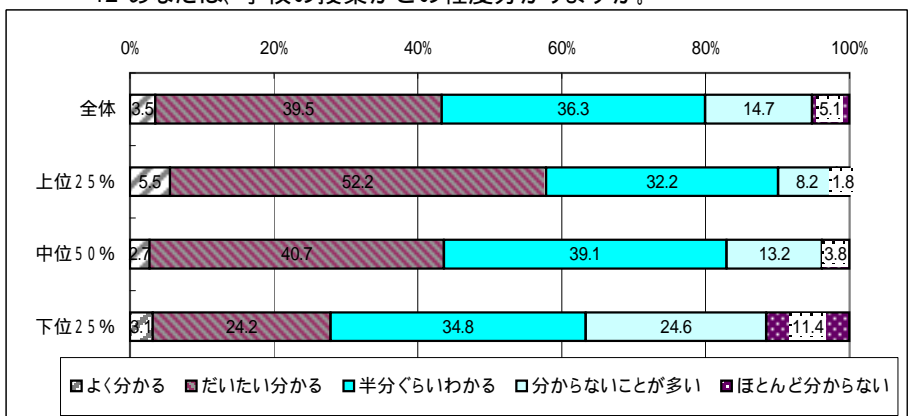
10 平日、あなたは家庭でどのような内容の学習を主にしていますか。



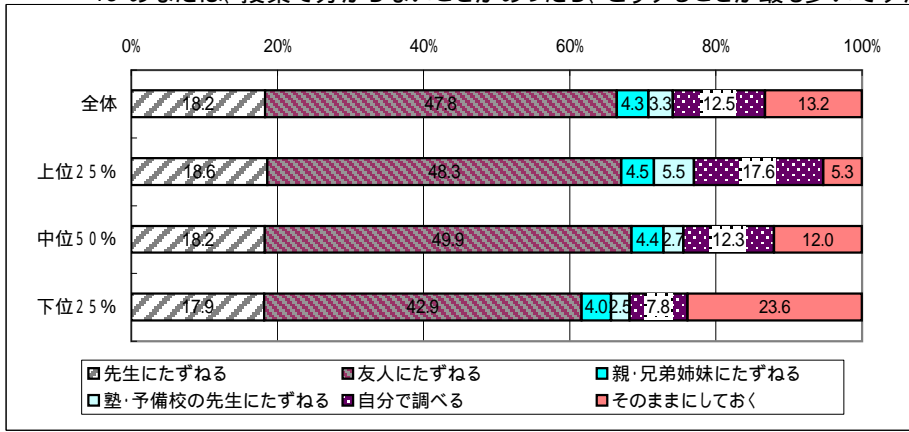
11 平日、あなたは家庭でどのような仕方で学習を主にしていますか。



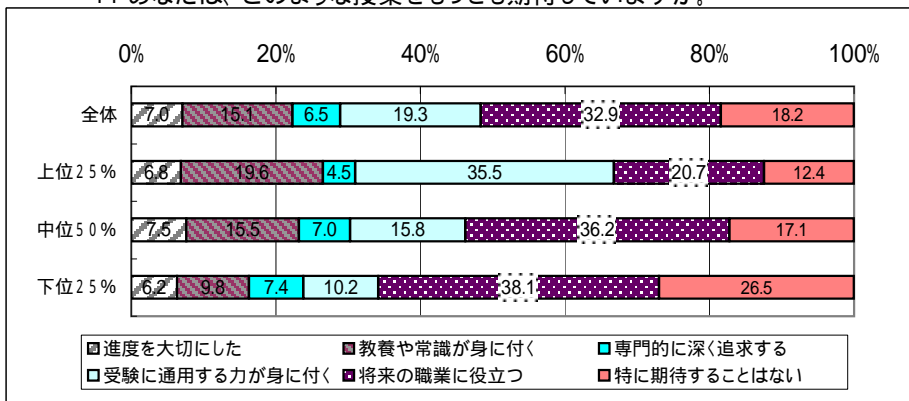
12 あなたは、学校の授業がどの程度分かりますか。



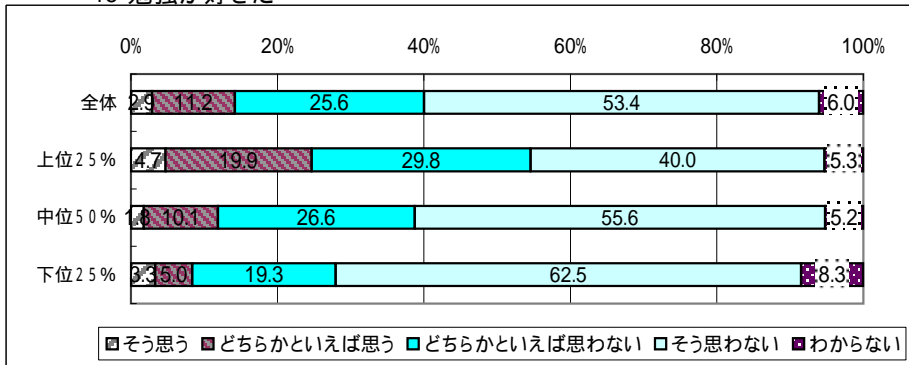
13 あなたは、授業で分からないことがあったら、どうすることが最も多いですか。



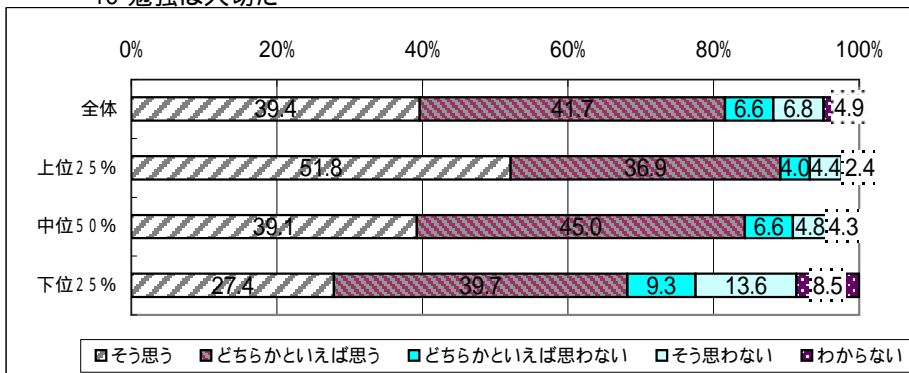
14 あなたは、どのような授業をもっとも期待していますか。



15 勉強が好きだ



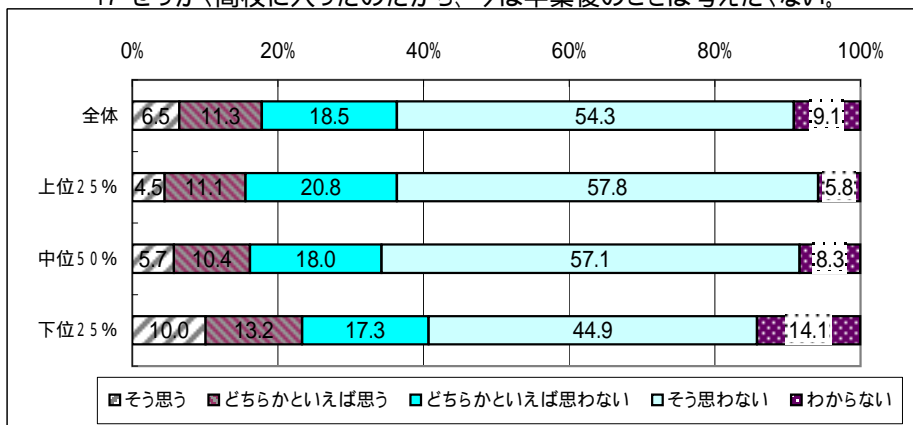
16 勉強は大切だ



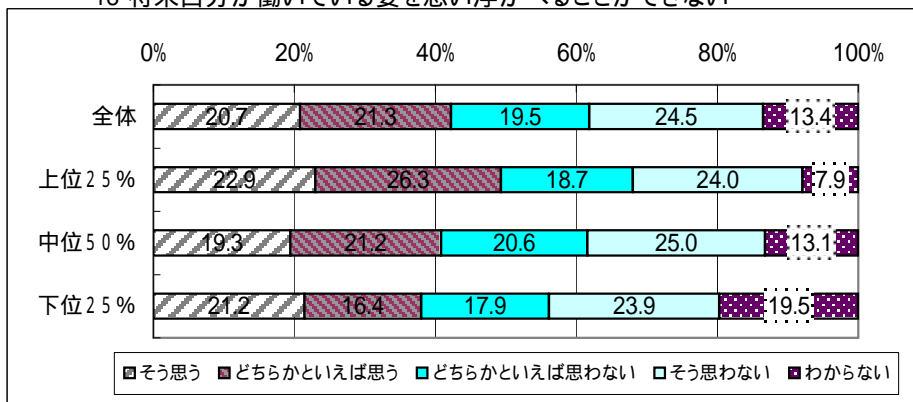
苦手教科は、数学、英語が多く、下位層ほど数学の割合が多くなる。
 苦手な理由は、成績により大きな開きがなく、「勉強しても点数がとれない」
 「勉強の仕方が分からない」「興味がわかない」が多い。
 半数が全く勉強をしていない。上位層でも4人に1人は、勉強していない。
 上位層になるにつれて、学習時間を「不十分だと思う」割合が高い。
 「授業の予習復習」内容を「ほぼ決まった時間に机に向かう」仕方で学習をする
 生徒が上位層に多い。
 授業の半分以上が分かっている生徒は8割であるが、各層間の差は大きい。
 授業で分からないことがあったら、下位層になるにつれて放置する傾向がある。
 上位層になるにつれて、「教養や常識」「受験に通用する」内容を授業に期待して
 いる。
 「勉強が大切と思っている生徒」は、約8割であるが、勉強が好きな生徒は約15%
 である。

(4) 職業観・将来像

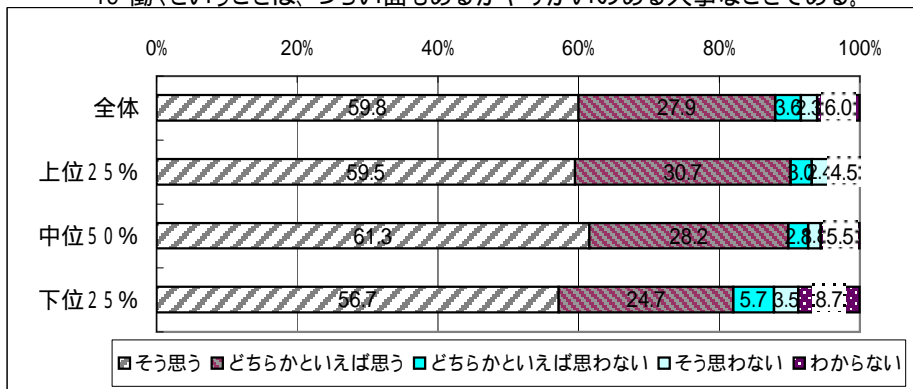
17 せっかく高校に入ったのだから、今は卒業後のことは考えたくない。



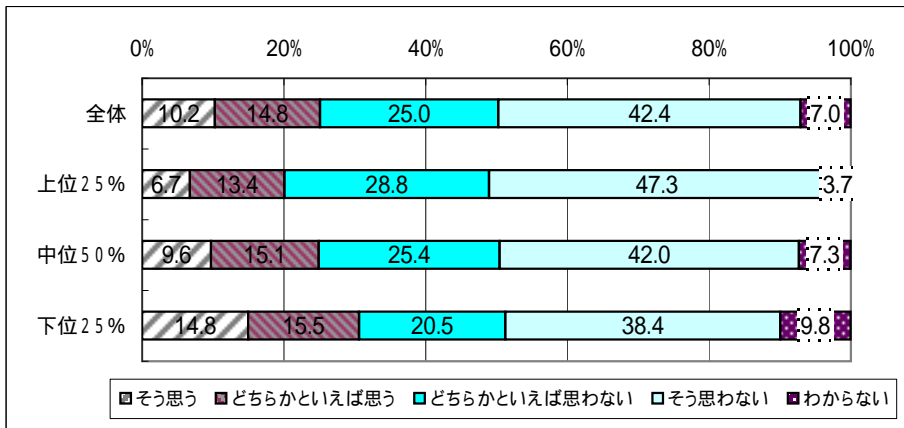
18 将来自分が働いている姿を思い浮かべることができない



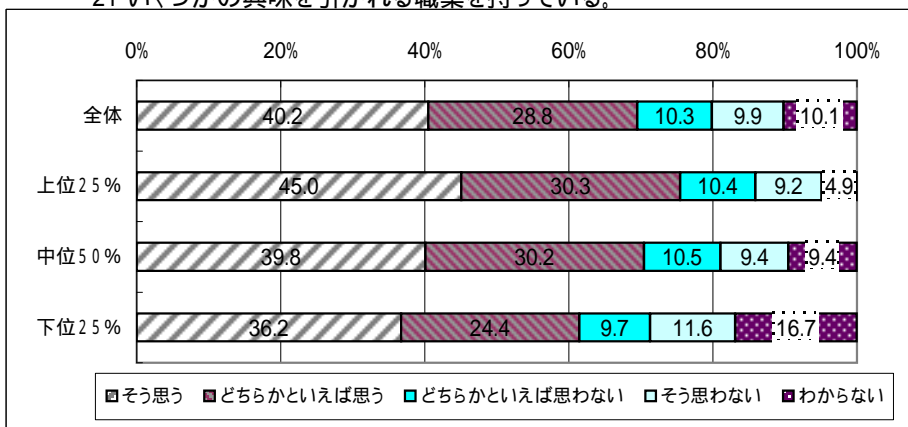
19 働くということは、つらい面もあるがやりがいのある大事なことである。



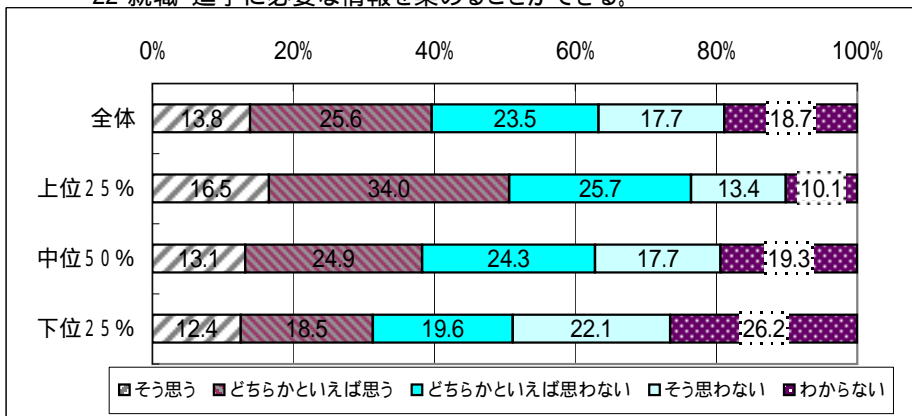
20 生活が安定するなら、職種は何でも良い。



21 いくつかの興味を引かれる職業を持っている。



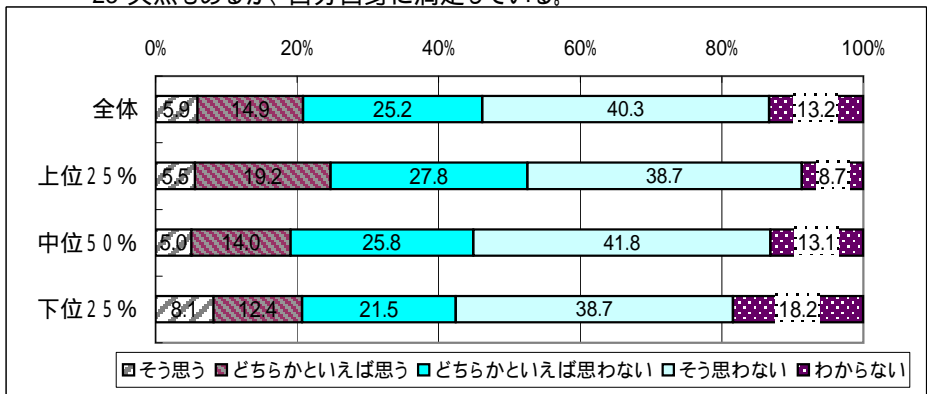
22 就職・進学に必要な情報を集めることができる。



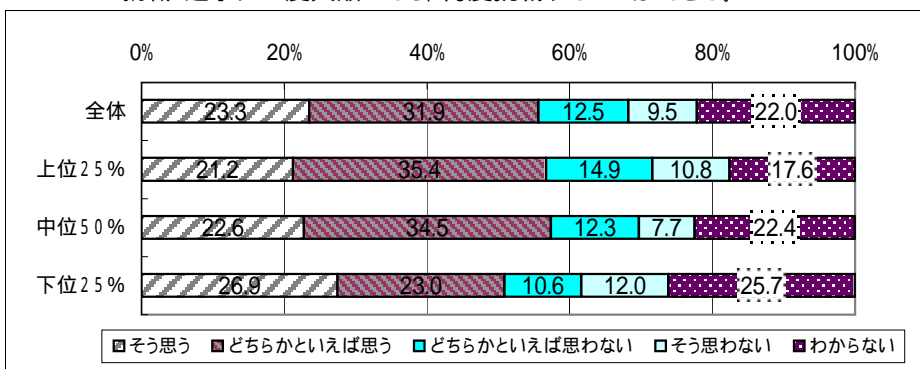
上位層になるにつれて、職業に収入以外のこだわりが強い傾向である。
上位層になるにつれて、情報収集力は高い傾向にある。

(5) 目的意識・自己肯定感

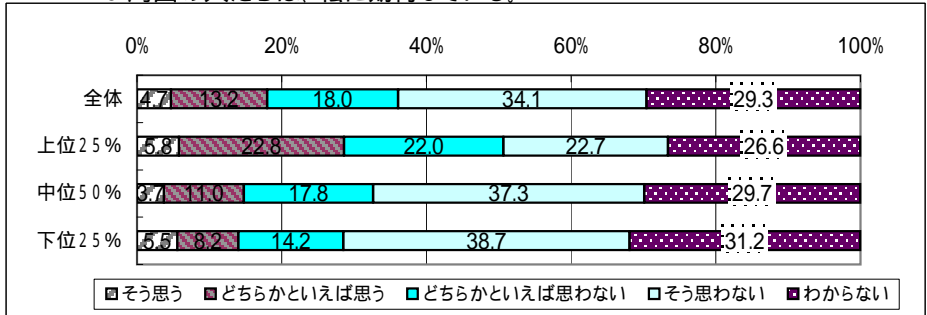
23 欠点もあるが、自分自身に満足している。



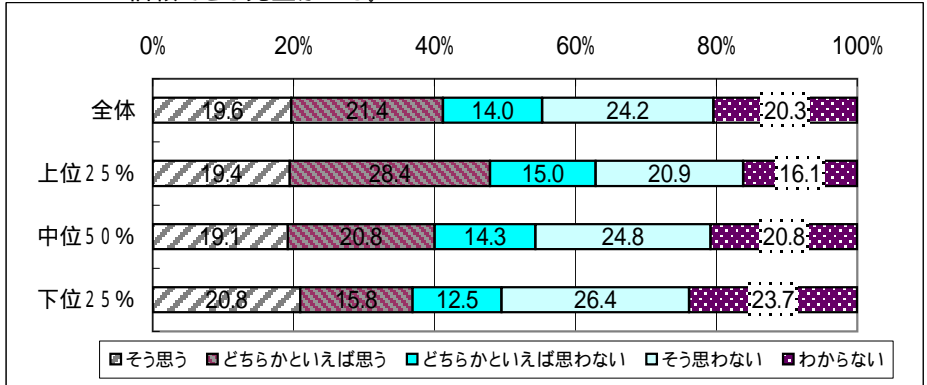
24 就職・進学に一度失敗しても、再度挑戦することができる。



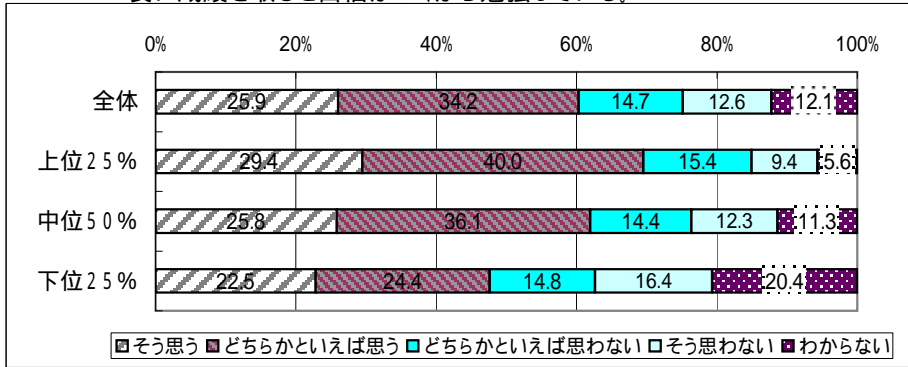
25 周囲の人たちは、私に期待している。



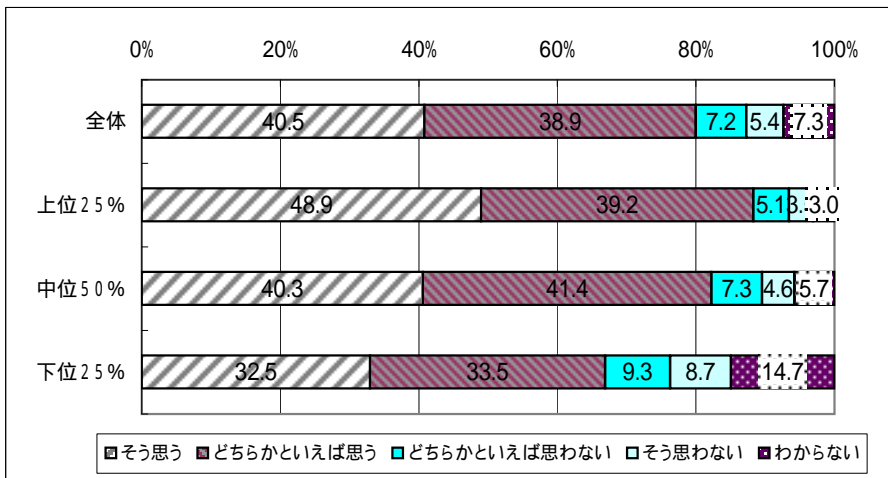
26 信頼できる先生がいる。



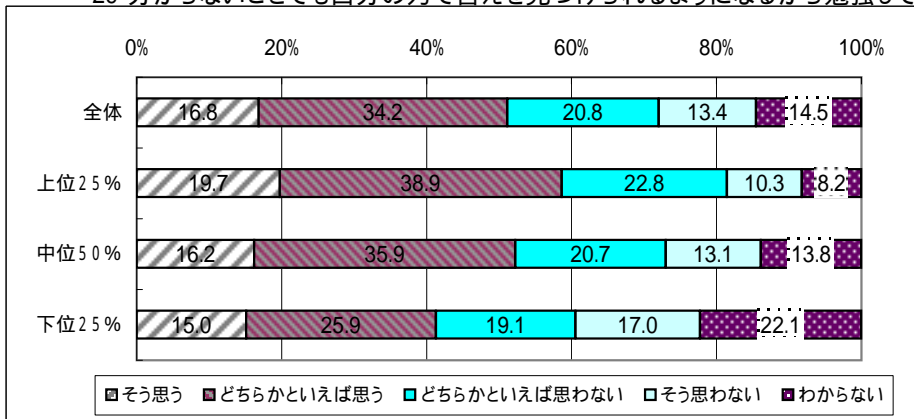
27 良い成績を取ると自信がつくから勉強している。



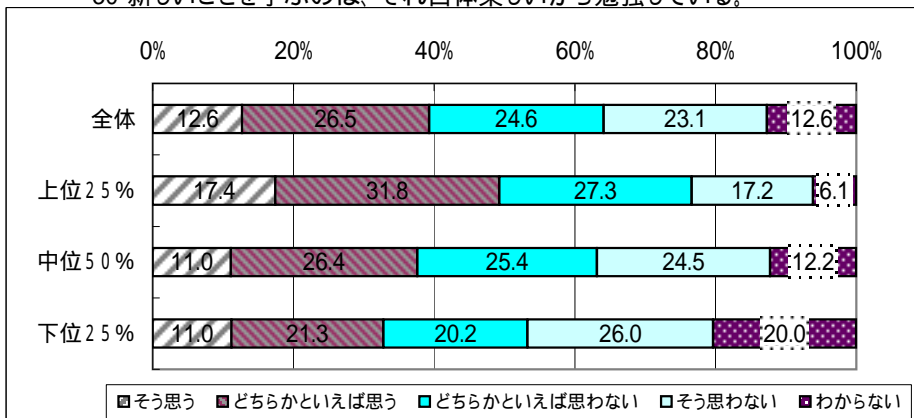
28 入学試験や就職試験に役立つから勉強している。



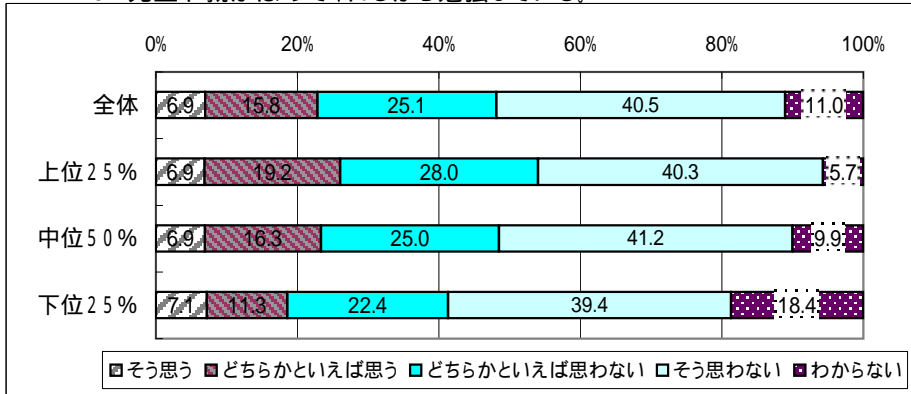
29 分からないことでも自分の力で答えを見つけられるようになるから勉強している。



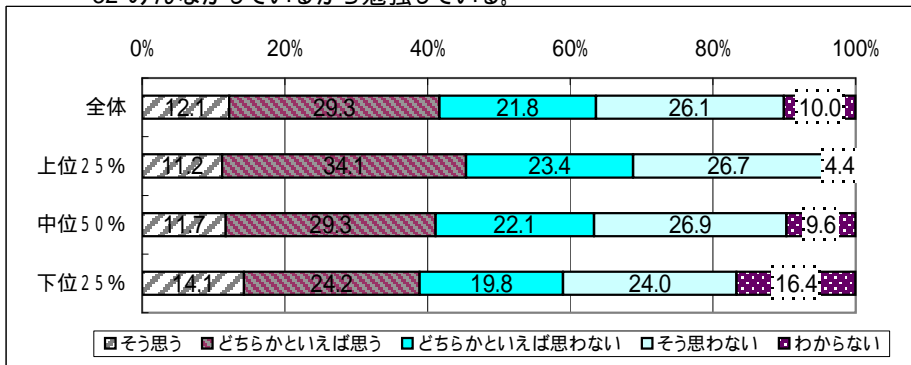
30 新しいことを学ぶのは、それ自体楽しいから勉強している。



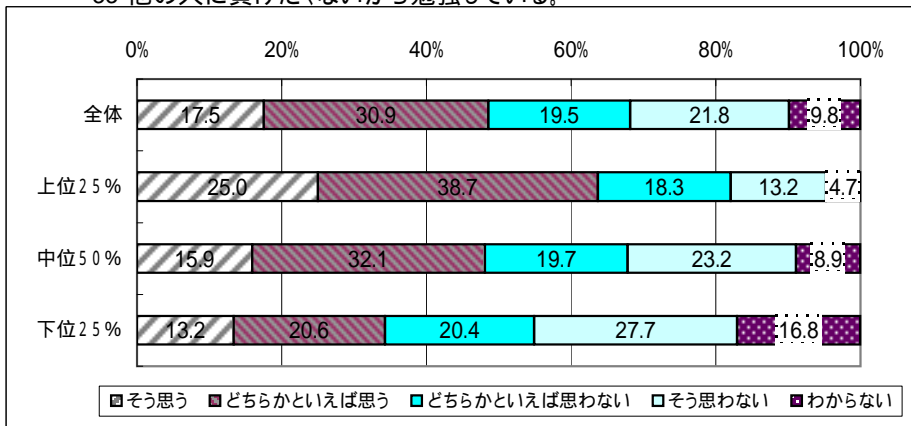
31 先生や親がほめてくれるから勉強している。



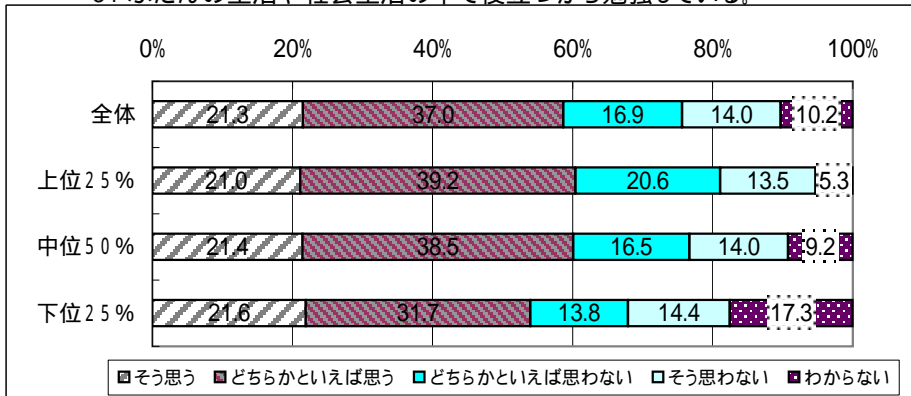
32 みんながしているから勉強している。



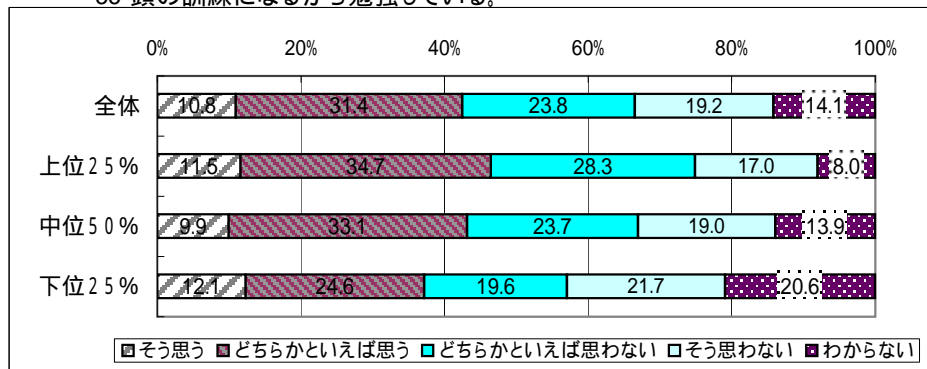
33 他の人に負けたくないから勉強している。



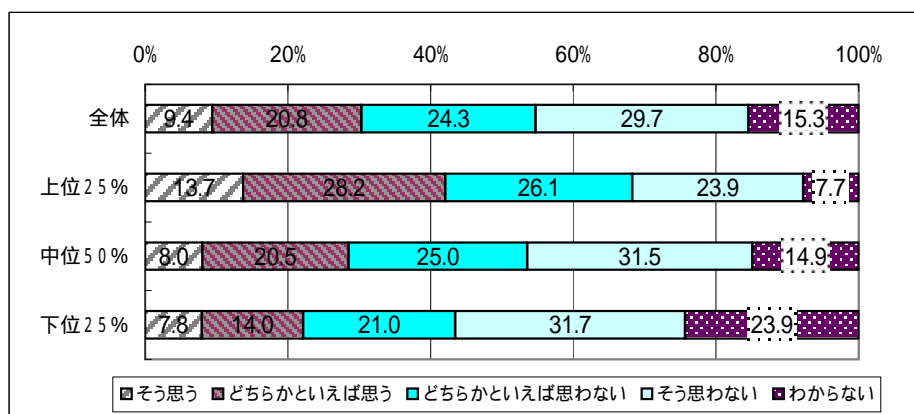
34 ふだんの生活や社会生活の中で役立つから勉強している。



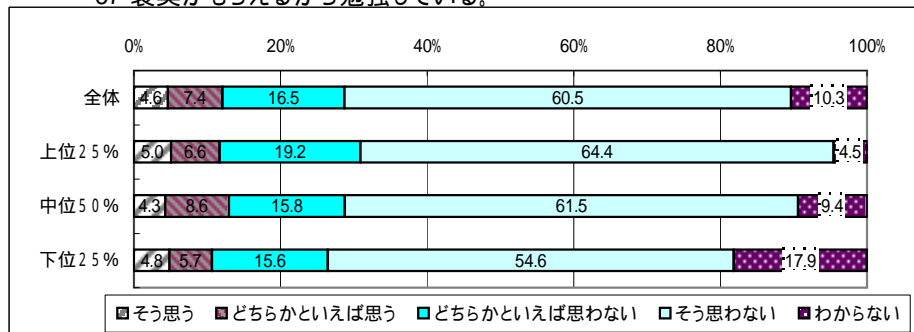
35 頭の訓練になるから勉強している。



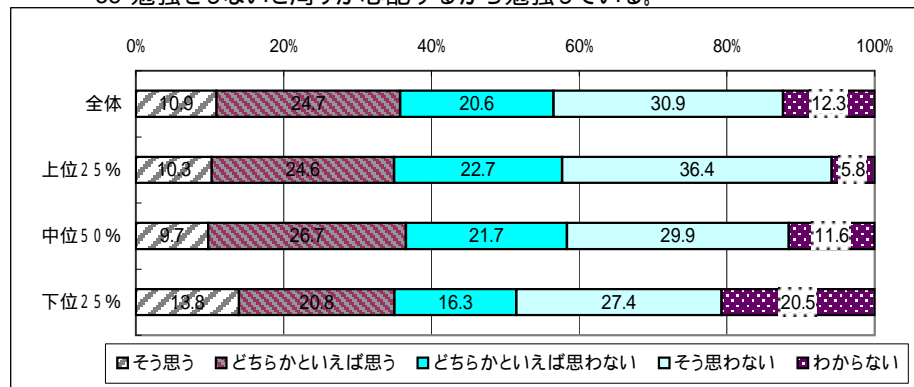
36 勉強によってもたらされる充実感があるから勉強している。



37 褒美がもらえるから勉強している。



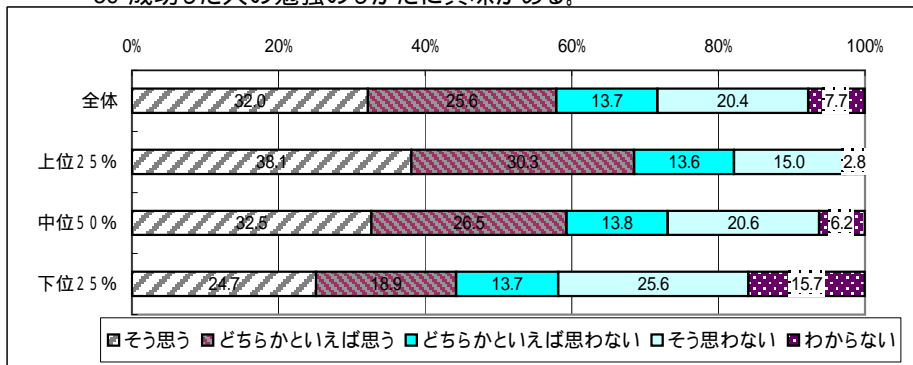
38 勉強をしないと周りが心配するから勉強している。



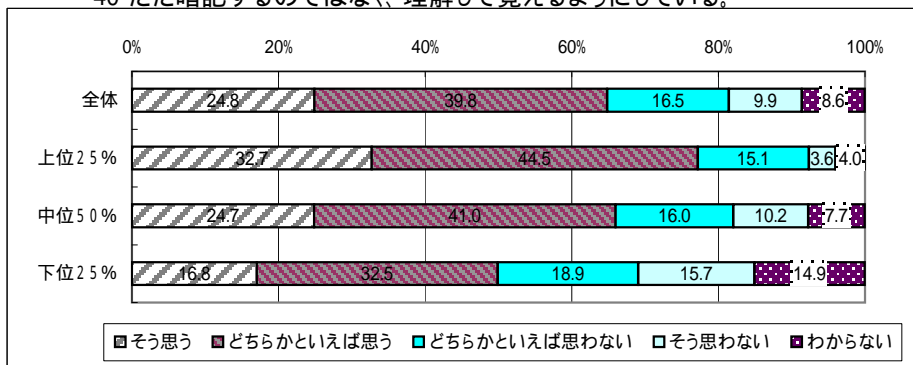
勉強の目的が「勉強による充実感がある」「他人に負けたくない」「自分の力で答えを見つけられる」「新しいことを学ぶことの楽しさ」などが学力と相関がある傾向である。
特に、「新しいことを学ぶことの楽しさ」は、上位層に見られる特徴である。
「周囲に期待されている」と思わない割合が中下位層でかなり高い。

(6) 学習方法、意識

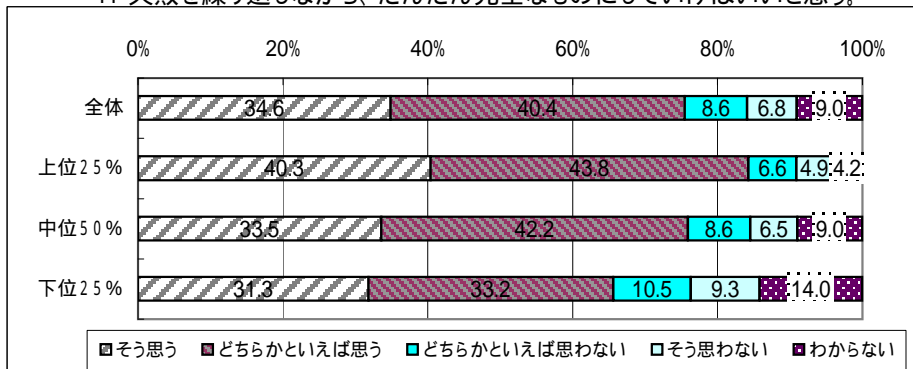
39 成功した人の勉強のしかたに興味がある。



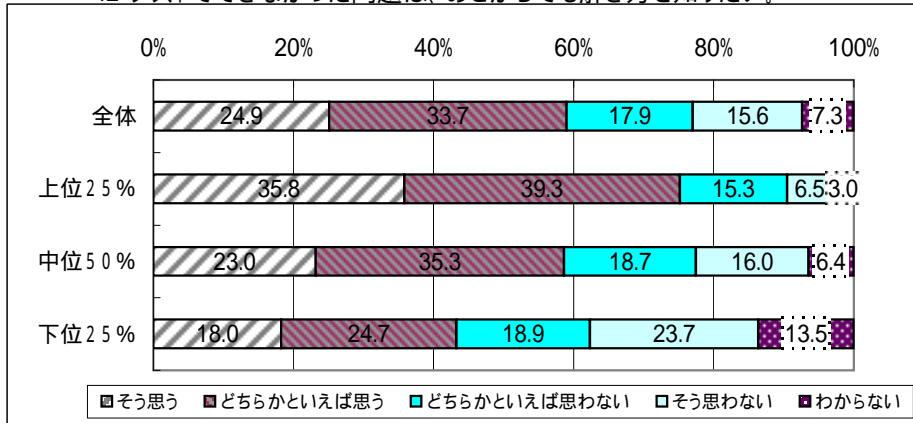
40 ただ暗記するのではなく、理解して覚えるようにしている。



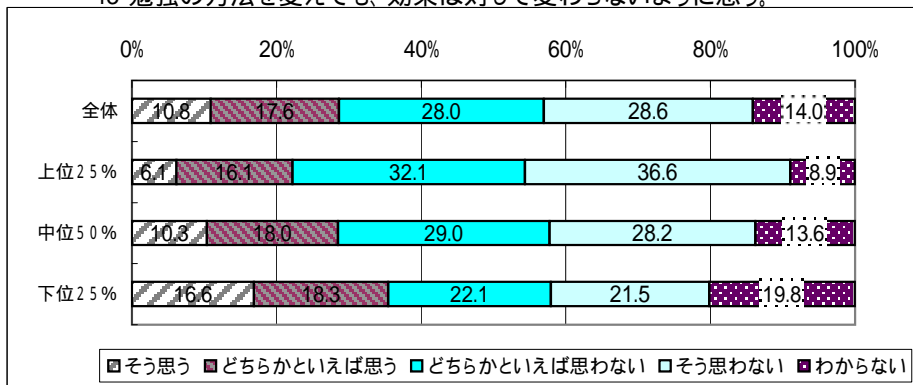
41 失敗を繰り返しながら、だんだん完全なものにしていけばいいと思う。



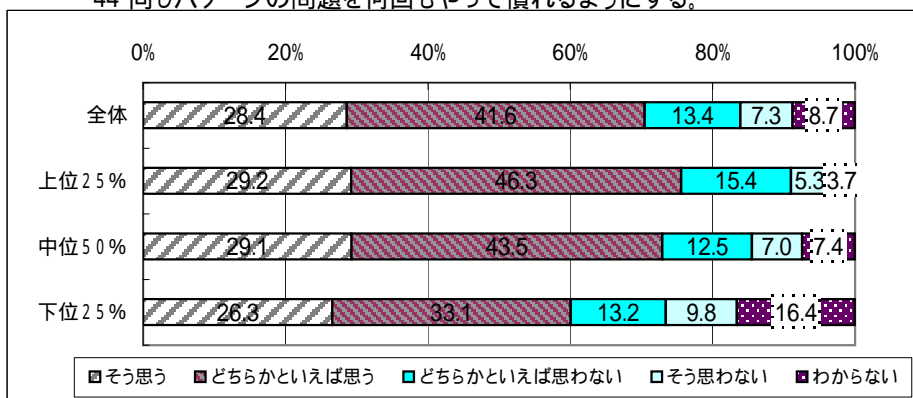
42 テストでできなかった問題は、あとからでも解き方を知りたい。



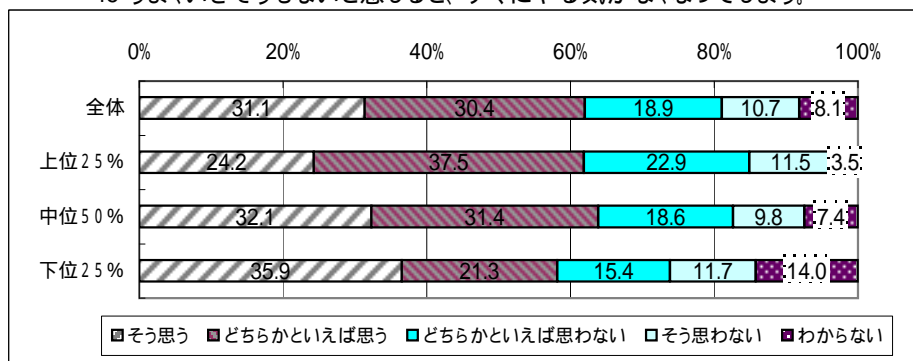
43 勉強の方法を変えても、効果は対して変わらないように思う。



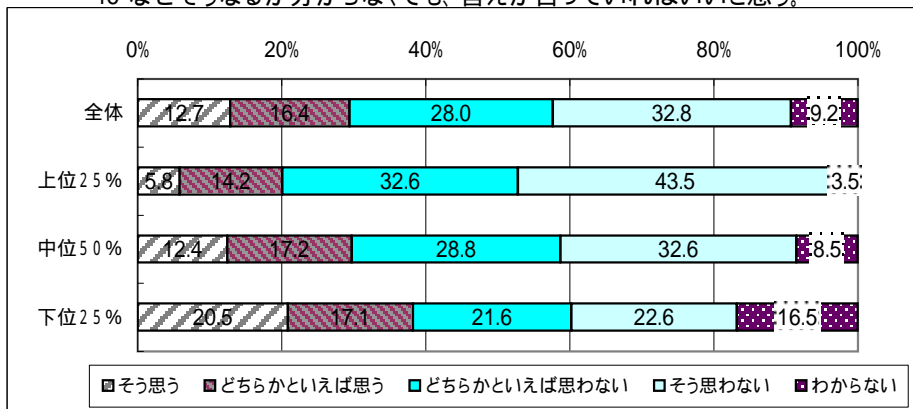
44 同じパターンの問題を何回もやって慣れるようにする。



45 うまくいきそうもないと感じると、すぐにやる気がなくなってしまう。



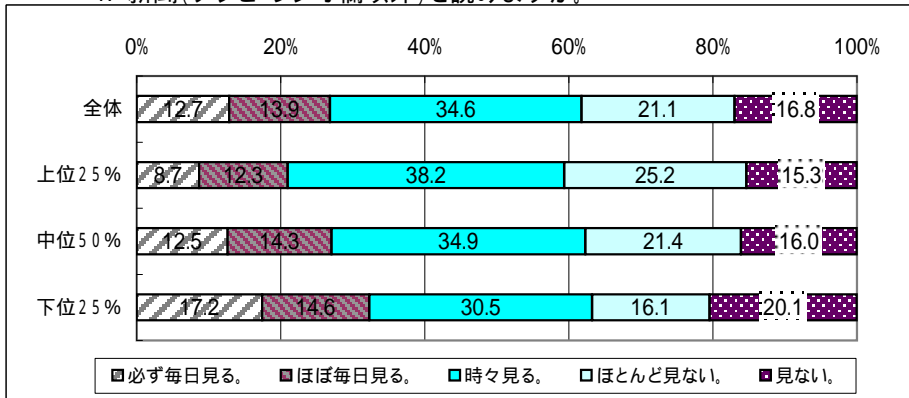
46 なぜそうなるか分からなくても、答えが合っていればいいと思う。



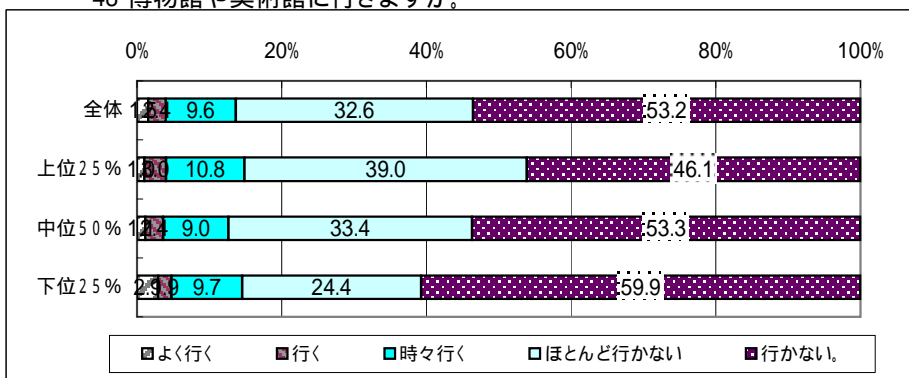
「理解して覚える」「答えだけ合っていればいいと思わない」など、上位層には、学習に対して、プロセスを重視する傾向が見られる。上位層では、「失敗をしてもだんだん完全ものにしよう」という柔軟性が見られる。各層を問わず、困難に直面した場合、意欲を失ってしまう傾向が強い。

(7) 生活環境

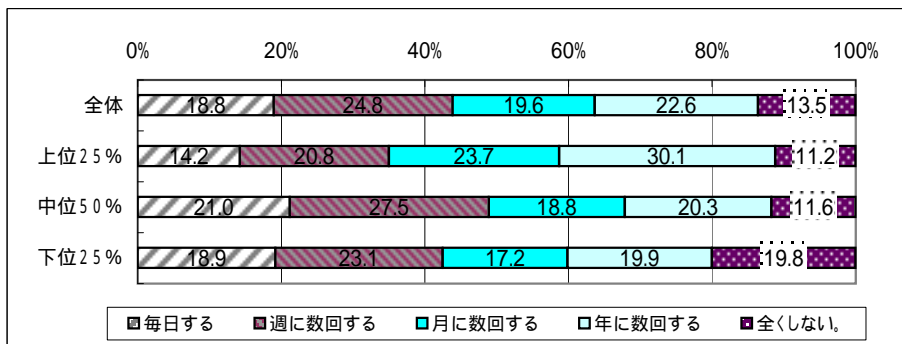
47 新聞(テレビ・ラジオ欄以外)を読みますか。



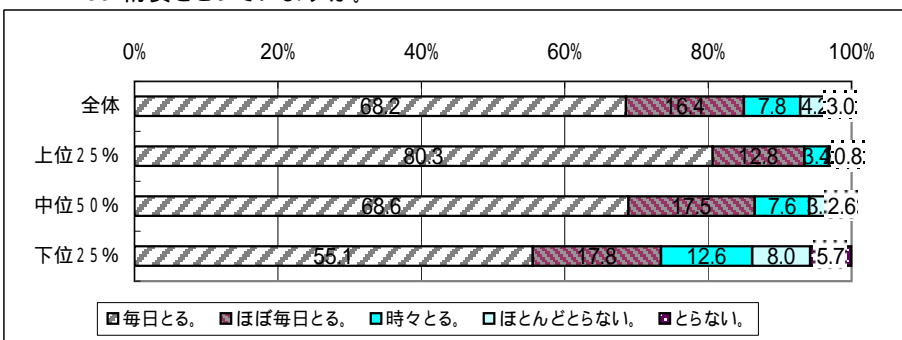
48 博物館や美術館に行きますか。



49 読書(マンガ以外)をどのくらいしますか。



50 朝食をとっていますか。



朝食の摂取率が高いほど学力が高い傾向にある。
 新聞や本を読むことに大きな差は見られないが、新聞では下位層、読書では中位層の割合が最も高い。
 博物館などの施設にはほとんど行かない。

学 習 状 況 ア ン ケ ー ト

お願い

高知県進学協議会・高知県教育委員会事務局高等学校課

この調査は、進路希望、学校と家庭での学習状況などをたずねるものです。それぞれの質問をよく読み答え
てください。調査結果の一部は、学習支援テストの結果とあわせて返却いたします。

調査は、高校生の学習支援を目的としたもので、個人の情報が漏れることはありませんので、率直かつ真摯
に答えてください。よろしくお願いいたします。（質問に対して、回答は一つだけにしてください）

1	あなたは、いずれに該当しますか。 男 子 女 子
2	あなたは、将来どのような職業に最も就きたいとっていますか。 事務関係 技能・技術関係 教育・研究関係 医療・福祉関係 農林・水産関係 芸能・芸術関係 販売・サービス関係 その他 未定
3	あなたが、現在希望している高校卒業後の進路はどれですか。 4年制大学（国公立） 4年制大学（私立） 短期大学 専修・各種学校 就職 未定
4	(進学希望者の人が答えてください)どの分野を最も学びたいと考えていますか。 文学・語学系 法・経・商学系 教育・体育・芸術学系 理・工・情報学系 医・歯・薬学系 看護・保健・福祉学系 家政・生活科学系 その他 未定
5	あなたは、進路のことについて主にだれと相談していますか。 友人・先輩 親・兄弟姉妹 学校の先生 塾・予備校の先生 その他 だれとも相談しない
6	あなたが、最も不得意な教科は何ですか。 国語 地歴・公民 数学 理科 英語 その他
7	あなたが、その教科が不得意な理由は何ですか。 授業が難しすぎるから 担当の先生と合わないから 勉強しても点数が取れないから 勉強の仕方がわからないから 興味がわからないから その他
8	平日、あなたの授業以外の平均学習時間はどのくらいですか。(塾などを含む) 4時間以上 3時間以上 2時間以上 1時間以上 30分程度 していない
9	あなたは、問8で回答した平日の学習時間についてどのように感じていますか。 十分だと思う どちらかといえば十分だと思う どちらかといえば不十分だと思う 不十分だと思う わからない
10	平日、あなたは家庭でどのような内容の学習を主にしていますか。 授業の予習・復習を中心に 参考書・問題集を中心に 塾・予備校・通信添削を中心に 課題が出たときだけ その他 していない
11	平日、あなたは家庭でどのような仕方学習を主にしていますか。 ほぼ決まった時間に机に向かう 学習する時間は決まっていない その日の気分でゆったりやらなかったり 宿題によってゆったりやらなかったり 自宅ではしない その他
12	あなたは、学校の授業がどの程度わかりますか。 よく分かる だいたい分かる 半分ぐらい分かる 分からないことが多い ほとんど分からない
13	あなたは、授業で分からないことがあったら、どうすることが最も多いですか。 先生にたずねる 友人にたずねる 親・兄弟姉妹にたずねる 塾・予備校の先生にたずねる 自分で調べる そのままにしておく

学 習 状 況 ア ン ケ ー ト

14	あなたは、どのような授業を最も期待していますか。 進度を大切にしたい授業 専門的に深く追究する授業 将来の職業に役立つ授業	教養や常識が身につく授業 受験に通用する力が身につく授業 特に期待することはない
----	--	--

15～47の質問について、あなたの考えに一番近いものを一つずつ選んでください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
15	勉強が好きだ。				
16	勉強は大切だ。				
17	せっかく高校に入ったのだから、今は卒業後のことは考えたくない。				
18	将来自分が働いている姿を思い浮かべることができない。				
19	働くということは、辛い面もあるがやりがいのある大事なことである。				
20	生活が安定するなら、職種は何でもよい。				
21	いくつかの興味を引かれる職業をもっている。				
22	就職・進学に必要な情報を集めることができる。				
23	欠点もあるが、自分自身に満足している。				
24	就職・進学に一度失敗しても、再度挑戦することができる。				
25	周囲の人たちは、私に期待している。				
26	信頼できる先生がいる。				

あなたは、なぜ勉強をするのですか。

27	よい成績をとると、自信がつくから。				
28	入学試験や就職試験に役立つから。				
29	分からないことでも自分の力で答えを見つけられるようになるから。				
30	新しいことを学ぶのは、それ自体楽しいから。				
31	先生や親がほめてくれるから。				
32	みんながしているから。				
33	他の人に負けたくないから。				
34	ふだんの生活や社会生活の中で役立つから。				
35	頭の訓練になるから。				
36	勉強によってもたらされる充実感があるから。				
37	ほうびがもらえるから。				
38	勉強をしないと周りが心配するから。				

あなたの学習方法について、教えてください。

39	成功した人の勉強のしかたに興味がある。				
40	ただ暗記するのではなく、理解しておぼえるように心がけている。				
41	失敗を繰り返しながら、だんだん完全なものにしていけばいいと思う。				
42	テストでできなかった問題は、あとからでも解き方を知りたい。				
43	勉強の方法を変えても、効果は大して変わらないと思う。				
44	同じパターンの問題を何回もやって慣れるようにする。				
45	うまくいきそうもないと感じると、すぐやる気がなくなってしまう。				
46	なぜそうなるか分からなくても、答えがあっていればいいと思う。				

以下の質問に対して、最も当てはまるものを選択してください。

	必ず毎日見る	ほぼ毎日見る	時々見る	ほとんど見ない	見ない
47	新聞(テレビ・ラジオ欄以外)を読みますか。				
48	博物館や美術館に行きますか。				
	よく行く	行く	時々行く	ほとんど行かない	行かない
49	読書(マンガ以外)をどのくらいしますか。				
	毎日する	週に数回する	月に数回する	年に数回する	まったくしない
50	朝食をとっていますか。				
	毎日とる	ほぼ毎日とる	時々とる	ほとんどとらない	とらない

ありがとうございました。

(8) 学習状況アンケートのまとめ

【全体の傾向】

自主学習・家庭学習時間

- ・約半数が授業以外で学習をしていない。この傾向は、中位層、下位層でほとんど差がない。
- ・上位層でも1時間以上の学習をしているものは、約半数にすぎない。

進路希望

- ・「国公立4年制希望」が27%。生徒数にして約1300人であるが、今春の進学者数は約380人である。希望者の約3割しか実現されていない。
- ・下位層ほど「卒業後の進路が未定」「進路のことを誰にも相談しない」が多くなる。

学習が苦手な要因

- ・「勉強しても点数がとれない」「興味がわからない」「勉強の仕方が分からない」が約7割を占める。
- ・下位層ほど、「勉強の仕方が分からない」が増加する傾向がある。

授業や学習に対する考え方

- ・勉強が大切と思っている生徒は、約8割であるが、勉強が好きな生徒は約15%にすぎない。
- ・褒美など外的な動機付けはあまり機能しない。

勉強の仕方

- ・授業の予習・復習をほぼ決まった時間に行う学習の仕方の生徒の学力が高い傾向にある。

勤労観・職業観

- ・働くことの大切さは認識している。
- ・将来の職業へのこだわりをもっていることが学習に向かわせる要因になりうる。

自己肯定観・学習意欲

- ・学力が高い生徒に、答えだけではなく学習プロセスを重視する傾向が見られる。
- ・困難なことに対して、すぐに意欲を失う傾向がある。

学習環境

- ・朝食をとる率と学力には相関が見られる。
- ・美術館などの文化的施設の利用は全体に低い。

【上位層に共通した傾向】

ほぼ決まった時間に机に向かう学習習慣がある。
将来の目的達成のための授業を期待する傾向が強い。
将来に向けての情報の収集力に長けている。
新しいことを学ぶことが楽しいと考える割合が多い。
学習に対して、プロセスを重視する傾向が見られる。
間違っても、次へつなげる柔軟性がある。
朝食をきちんととれている。

【中・下位層に共通した傾向】

授業で分からないことがあっても放置している。
なぜ勉強をするのか分からない割合が多い。
周囲から期待されていると感じている割合が少ない。
学習の仕方が分からない割合が高い。
下位層の25%は、授業へ期待することがない。
丸暗記の学習方法の割合が高い。
下位層で新聞を読む、中位層で読書をする率が高い。

【テスト結果と相関のあった質問項目】(注)()内の数値は、相関係数

やや相関がある。

設問 15 勉強が好きだ。(0.21)

設問 16 勉強は大切だ。(0.24)

設問 33 他の生徒に負けたくないから。(0.21)

設問 40 ただ暗記するのではなく、理解して覚えるように心がけている。(0.21)

設問 42 テストでできなかった問題は、後からでも解き方を知りたい。(0.24)

設問 46 なぜそうなるか分からなくても、答えが合っていればいいと思う。(0.23)

設問 50 朝食をとっていますか。(0.23)

5 今後の対応策

(1) 高校入学時指導の充実

1年次が重要 中学校で身につけていない学びの姿勢

<取組のポイント>

入学時オリエンテーションを充実させ、高校生活へのスムーズな導入を。
学習時間が不十分であるとの自覚はあり、より具体的で意図的な働きかけが必要。
入学直後に勉強の仕方、教科のよさや意義などのガイダンスの時間をとることが大切である。

(2) 授業の改善

授業では「プロセス」を大切に

<取組のポイント>

「ただ暗記するのではなく、理解して覚える」「答えだけ合っていればよい。」が
学力と相関が見られる。
答えに行きつくまでの論理的な思考のプロセスを大切にした授業が必要。

生徒が生き生きと活動する場面の設定が必要

<取組のポイント>

「勉強が好きだ。」「勉強は大切だ。」と意識しているほど学力が高い傾向にある。
授業の環境づくりが大切。
教師の一方的な講義や、ワークシートだけのようない受け身の学習だけでなく、
生徒が生き生きと活動する場面を設定することが必要。

(3) 組織的な教科経営

すべての生徒に学力を保証するには、教科会としての組織的な取組が必要

<取組のポイント>

学習支援テストの分析結果などをもとに、教科としての目標設定や行動計画の作成を行う。
教科会での入試問題の研究、実力テストの作問などを通じて教科指導力を高める。